

キタ！からきた



だより 第159号

※支部活動に関するご質問・ご要望や、事例検討会、一泊研修他、申し込みについては、以下のメールアドレスにご連絡下さい。
kitasibu2012@yahoo.co.jp 大阪北支部宛

「こんなところに社会福祉士がいた！」

カムバック投稿
紙配信されていなかった
記事を再投稿します！

＜大阪北支部・会員リレー紹介 032＞ レポーター（光成信也）

インタビューをしていると、こちらが不思議と元気をもらえる、バイタリティあふれる女性、松本久美子さんをご紹介します。

松本さんは、大阪市内で居宅介護支援事業所を立ち上げ、ケアマネジャーとして働かれています。介護の学校を卒業された後、障がいの施設や訪問介護の事業所、小規模多機能施設などに従事され、様々な現場を経験されてきました。その時は、「制度のことは分からないけど、やらないといけないから、とにかく色々な人に聞きまくりながら働いていた」そうです。そんな中、「社会福祉士なら制度のことはオールマイティ」、そんなイメージで、社会福祉士への興味を持たれ、その後大学に通い資格を取得されます。

転職を考え、両親にたまたま愚痴を言って、事業所の立ち上げの件も話をしたところ、両親は即決で全面的に応援！そして、現在の居宅介護支援事業所の立ち上げが実現しました。松本さんのバイタリティはご両親譲りなのかもしれません。働き方など、大切に想っていることを聴くと、「事業所都合とかは嫌だし、ケアマネジャーとかの職種にもこだわりはない、ただその利用者さんのために働けたらいい」と言われ、また「この地域が好き」、「この地域の仕事で出会った仲間と働きたい」、「家族や仕事の仲間など、私は人に恵まれている」と言われていました。インタビューを終え、色々な経験を経て、みんなに感謝をされながら働く松本さんだからこそ、人に恵まれ、周りにも元気を与えていると感じました。



研修会レポート『認定審査会ってどんなところ？』 2023/09/09



大阪社会福祉士会の公職委員推薦でもある、介護認定審査会及び障がい支援区分認定審査会について、大阪北支部・大阪南支部で2回目となる協働開催の研修会をオンラインで実施しました。

今年は、最初から支部を限定しない参加対象としたところ、大阪北・大阪南支部以外の支部会員の皆様も多数参加してくださり、昨年より多い43名での研修会となりました。

研修内容としては、審査会委員を推薦する目的から始まり、大阪市の審査会委員推薦状況、委員決定までのプロセス、推薦の基準などを皆、真剣に聞いておられました。また、審査会の実際場面では、映像資料等も使用しながら審査会の構成メンバー、使用する資料の理解の仕方など基本的な事項に加え、ちょこちょこ変わる審査会の新ルールや、「初めて審査会委員としてデビューする時の心得」など現任者ならではの伝授や『社会福祉士としての視点』として、何を大切にして審査会に臨むことが求められるのか？といった大切な視点を学んでいただけたと感じています。ここで、研修終了後のアンケートの一部を紹介させていただきます。

『ご支援させていただいている方で2号被保険者の方がいますが、今回の研修で障がいの審査会の流れを理解することができ勉強になりました。』

『社会福祉士として審査委員会に参加する際に大切にする視点がよくわかり、大変勉強になりました。「障害認定審査会では、時間をかけて対象者の生活状況や人となり想像しながら参加することで、適切な障害支援区分が適用される」という内容を聞き、審査会の決定事項が対象者の生活に大きな影響を与えていると改めて認識して、真摯に参加する姿勢が必要であると感じました。』などのお声を頂戴しました。

今後の目標としては、本研修の継続化や現任者のスキルアップ、情報共有などもおこない審査会にとって社会福祉士の必要性を高めていければと思います。

【お詫び】 「気づきの事例検討会 2023（第2回）」の中止のお知らせ

令和5年10月21日（土）に開催予定をしておりました事例検討会ですが、スーパーバイザーの参加が困難となられましたので、申し訳ありませんが中止の判断をさせていただきました。

